



大雨と河川

校長 能登 正明

夏休みが終わり、子どもたちの元気な声が学校に戻ってきました。一日という時間の長さをあらためて感じることも多かったのではないのでしょうか。学校での決まった時間に決まった行動をすることは、子どもたちにとってある意味楽なことかもしれません。学校がないときの自分の自由になる時間を、自分でどのように使うかを考えて実践することはなかなか難しいことだと思います。学校がまた始まりましたが、時間の使い方について普段から意識していくことも大切だと思います。

7月から8月にかけて、全国各地で豪雨とそれにとまなう水害のニュースが毎日のようにありました。近年は一昔前と違い、同じ地域に大量の雨が長時間にわたって降り続くことで、河川の増水や土砂崩れのような大きな災害が頻発しているように感じます。

日本列島は海と山に恵まれた土地です。夏休みに海や山に出かけた人もいますが、地図をよく見てみると、高速道路や鉄道路線などの多くが、川に沿って作られているのに気が付きます。川があることで大地が削られて山ができ、川に沿って谷ができ、それによってできた川沿いの平地に線路や道路が作られ、街ができました。また、山の中から平野に川が流れ出る所には扇状地ができ、そこを利用して果樹園などが多く造られた地域もあります。川があるからこそ、交通が発達し人々が生活できる土地が造られました。鉄道や自動車が無かった昔では、川を利用した水運が産業を支えていました。また、川の水が田畑を潤したことは言うまでもありません。もっとさかのぼれば、人類の文明が生まれ発展したのも、すべて大きな川がある場所でした。そう考えると、川の役割はとても大切ですが、一方で川があふれて大きな水害が発生する心配もあります。ニュースで、河川が増水し、街が水浸しになった映像を見るたびに、私たちが暮らすこの横浜でも同じような災害が起きた時にはどうすればよいのか、日頃より対策をしっかりと考えなくてはならないと感じます。9月には地震に備えた総合防災訓練を行います。また、台風が多く襲来することも予想されます。学校でも、防災や減災に向けて、今後もしっかりと取り組んでいきたいと思っています。

夏休み中は猛暑の中、ボランティアの皆様にご協力いただき、飼育動物の世話や農園と花壇の手入れや水やりをしていただきました。ありがとうございました。新型コロナウイルス感染症もなかなか収まらなかった夏休みでしたが、夏休み明けも十分に対策を講じながら、できるだけ子どもたちの楽しみにしている行事などを実施できるようにしていきたいと思っています。保護者や地域の皆様のご理解やご協力をこれからもよろしくお願いいたします。

最近の教育活動の様子



よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト 6月29日(水)

瀬谷区民文化センターあじさいプラザで、瀬谷区審査会が行われました。大門小学校の代表として6年2組の野田真由さんが出場し、「一人一人の力は小さなものでも」というテーマでスピーチをしました。練習の成果を発揮して、しっかりと思いを伝えることができました。小学校の部で最優秀賞に次ぐ、「優秀賞」を受賞しました。

学校保健委員会 6月30日(木)

「元気がぴかぴか週間にチャレンジして元気な体と心をつくろう!~チャレンジ達成するためには?~」というテーマで行いました。「ノーメディア・歯みがき・早寝は体や心にどんな良い影響があるか」、「どんな取り組むコツがあるか」などを、保健委員会の児童が先生や友達にインタビューして、分かったことをテレビ放送で発表しました。毎月の元気がぴかぴか週間で、自分のめあてを意識して計画的に取り組むことが大切だと分かりました。



引取り訓練 6月30日(木)

震度5強の大地震を想定し、それに伴う学校での児童の引取り訓練を行いました。今年度も、密を避けるために自治会毎に時間をずらして、保護者の皆様にご来校いただきました。保護者と学校が連携し、メール送信から児童の引取りまでの動きを確認することができました。ご協力ありがとうございました。

2年 マリノス食育サッカーキャラバン 7月7日(木)

横浜F・マリノスのコーチに来校していただき、サッカーの楽しさや食事の大切さについて教えてもらいました。校庭でボールと友達になる運動や、サッカーのゲームを行いました。その後、食事をしっかりとって栄養をつけることの大切さについて一緒に考えました。暑い中でしたが、子どもたちは楽しく活動していました。

1年 なつまつり 7月7日(木)

生活科の学習で「わくわくなつまつり」を行いました。最初に学年全体で体育館に集まって盆踊りをして、みんなの気持ちを一つにしました。次に、各教室で「なつあそび」のお店屋さんをしました。子どもたちは考えを出し合って、お店の準備をしてきました。お店屋さん役とお客さん役を交互に体験して、遊びの工夫や友達とのやり取りを楽しみました。

6年 租税教室 7月14日(木)

社会科の「ともに生きるくらしと政治」の一環として行いました。普段耳にする「税金」とは何なのか、どんな役割をしているのか、税理士の方を講師として、お話を伺いました。税金によって公共施設がきれいに保たれていることや、様々な保障が受けられることを学びました。私たちの生活が安全で豊かなものになるために、税金が使われていることが分かり、その大切さを理解することができました。



収穫祭 7月15日(金)

今年も農園委員会が中心となり、子どもたちが主体となって計画や準備を進めてきました。各クラスの野菜の収穫の様子や大門小の農園の歴史についてのビデオの視聴をし、農園活動を振り返りました。その他に、全校児童の好きな野菜ランキングの結果発表、野菜クイズ、なすマンによるお芝居なども行いました。

毎年恒例の「なすコンテスト」では、学校協力者の守屋勝様に審査員をお願いし、受賞クラスを選んでいただきました。結果は、1位4年3組、2位6組、3

位4年1組でした。5年3組は「いい色で賞」を受賞しました。当日の給食の献立にも、農園で収穫した野菜が使用され、みんなで味わいました。



瀬谷中ブロック子ども会議 7月25日(月)

瀬谷中ブロック4校の代表の児童・生徒が集まって、「だれにとっても居心地の良い学校づくり」というテーマで、各校の活動を紹介し合いました。大門小学校からは、運営委員会の6年生3名が出席し、取組の様子や自分たちの考えを伝えました。4校が共通で取り組めることとして「あいさつ運動」が挙げられ、「挨拶を通していじめを解決したり、他学年との交流につなげていったりしよう」などの意見が出ました。挨拶を通してみんながつながっていることを実感できました。



大門小学校のESD



農園・植栽・飼育ボランティアなど(大門サポーター)

今年度も夏休み中、ボランティアの皆様により、農園の草むしりや正門付近を中心とした草花の世話と管理、飼育小屋のウサギの水やり・えさやりや小屋の掃除をしていただきました。朝から30度を超える猛暑の日もある中での活動でしたが、いつも熱心に活動していただきました。心のこもったご協力、本当にありがとうございました。

ボランティアの皆様の活動の様子の一部です。

大門小が保護者や地域の皆さんに支えられていることを改めて感じるとともに、たいへんうれしく思いました。



夏休み中には、いろいろな学年の子どもたちと保護者の方が何人も農園を訪れ、野菜を収穫していました。楽しそうに会話をしている姿や収穫した野菜を手にしてうれしそうにしている様子などが印象的でした。

安全・安心な生活のために

大門小学校の子どもたちが、夏休み中、大きなトラブルや事故がなく、過ごせたことにほっとしています。今後も子どもたちが安全・安心、そして楽しく生活できるよう、ご家庭でも放課後の過ごし方を共有していただければと思います。また、これから日が短くなり、暗くなるのが早くなります。次の点について改めて約束の確認をお願いいたします。

児童支援専任から



- 1 外出する場合は、できるだけ一人は避け、行き先・目的・帰宅時刻を必ず家の人に伝える。保護者が一緒にいないときは、午後6時までに家に帰る。
- 2 知らない人に声をかけられたときは、「ついていけない」「車にのらない、ものをもらわない」を守る。危ないと思ったときは、「おおきな声」で叫び、「すぐににげる。」近くにいる大人に「知らせる。」（「いかのおすし」を守る。）

※何かあった時には、すぐに瀬谷警察署(366-0110)へ連絡してください。